

## 茅ヶ崎セントラルクリニック 神代 慶子 (薬剤科)

**功 績** かかりつけ薬剤師の活動を通じ患者さんへのお薬手帳持参を看護師と共に啓蒙し続けたことで、他院からの処方薬の中に透析患者にとって禁忌薬である薬があったことを見逃さずに発見し、大きな問題になることを未然に防ぐことができた功績。

**推 薦 者** 佐野 良一 (マネージングディレクター)

**推 薦 理 由** 患者さんの服用するお薬について把握し医師への助言と、看護師との連携プレイを実施する姿はチーム医療を提供するうえで欠かせないものです。理念実現に向けたあるべき姿を体現した事例として理事長賞に推薦致します。

### 内 容

---

勤続16年目の神代さんは日々かかりつけ薬剤師として業務を遂行しています。

患者さんが服用している他院処方も含めた全ての薬を把握することで、治療効果が向上するように努めています。与薬のインシデント件数を減らす目的とした活動の中で、かかりつけ薬剤師としてお薬手帳をきちんと活用し更新していこうと、現場の看護師を始めとしたスタッフの協力のもと啓蒙活動を継続していました。

その中で今回のケースは、他院から処方された点眼薬が透析中の患者さんには禁忌のものでした。しかし処方された病院でも院外薬局でも見落とされていました。元々多くを語らない患者さんではありましたが、その処方された病院でも透析中であることを告げていなかったとのこと。様々な見過ごしがあり当院での発見に至りました。院外薬局に疑義照会で問い合わせた際は、「発見していただきありがとうございました」と感謝の意をいただきました。

医師からのアドバイス受けながら、看護師と啓蒙活動を進めお薬手帳をきちんと活用させていくシステム作りを構築させました。お薬手帳には透析中であることを記載することで、院外薬局からも処方時の問い合わせが来るほどになりました。